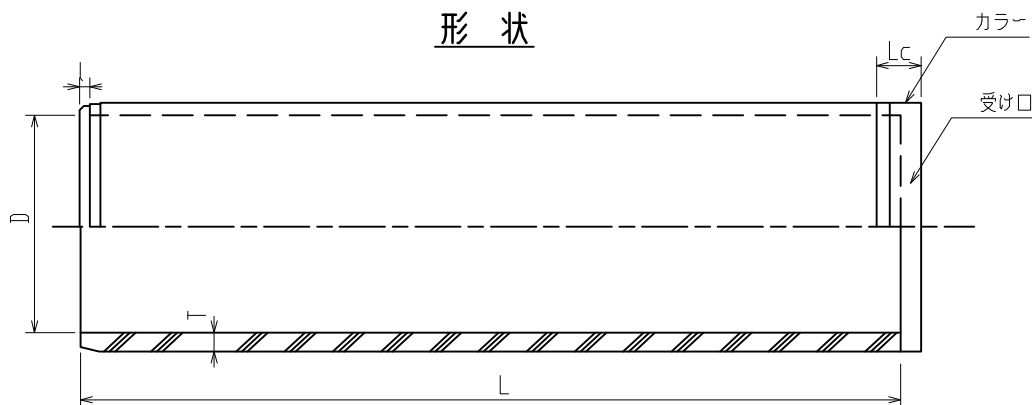
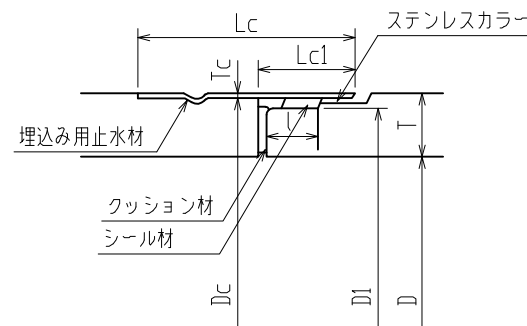


# 小口径推進用レジンコンクリート管 (JSWAS K-12)

## 形状



## 継手部詳細



## 寸法

単位：mm

	呼び径		内径 D	管厚 T		有効長 L		$\pi D1$		D1	Dc	l	RSJS		RSJA		RSJB		Tc	参考質量 (kg)
															Lc	Lc1	Lc	Lc1		
R S 形	200	200	±3	30	+3 -2	2000	±5	769	±3	245	255	30	130	60	155	85	—	—	2.0	95
	250	250								926	295									305
	300	300	1084	345	355					136										
	350	350	1241	396	409					176										
	400	400	±4	38 +4 -2	2430	±5	1416	±3	451	464	40	170	80	—	—	170	100	2.5	266	
	450	450							1592	507									520	324
	500	500							1775	565									578	397
	600	600							2111	672									686	525
700	700	2450	780	794	663															
R T 形	250	250	±3	55	±3 -2	2000	±5	1074	±3	342	355	30	130	60	—	—	155	85	2.0	231
	300	300								1244	396									409
	350	350	1420	452	464					414										
	400	400	1596	508	520					490										
	450	450	±4	63 +4 -2	2430	±5	1778	±3	566	578	40	170	80	—	—	170	100	2.5	581	
	500	500							1954	622									634	669
	600	600							2312	736									754	934
	700	700							2689	856									874	1159

注1 標準管の有効長(L)は、有効長2000mmのものは1000±5mmに、2430mmのものは1200±5mmにすることができる。

注2 標準管の形状は受口なしとすることができる。ただし、有効長(L)は、有効長2000mmのものは2000±5mmに、2430mmのものは2430±5mmにすることができる。

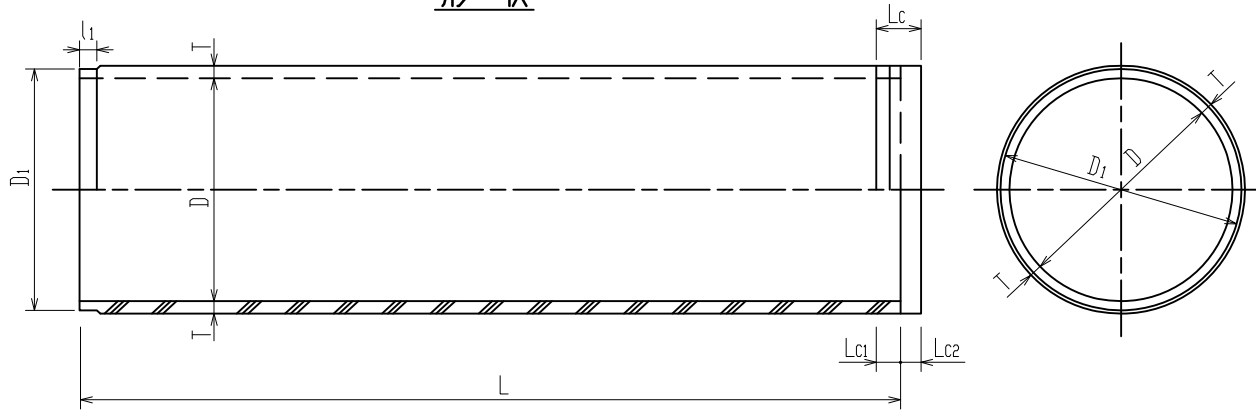
注3 有効長最大と最小の差は、3mm以内とする。

整理番号	1-2-500
作成年月日	2009, 04, 01

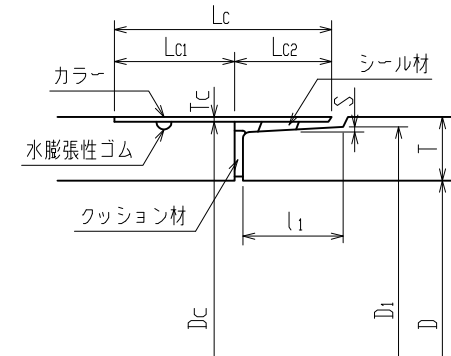
# 小口径推進用鉄筋コンクリート管 (1/5)

## (JSWAS A-6)

形状



継手部詳細 (SJS)



寸法

単位: mm

呼び径	内径 D		D1	$\pi D1$	管厚 T	有効長 L	l1	S	Lc	Lc1	Lc2	Tc	Dc
200	200	±3	298	936	59	2000	51	1.5	120	70	50	1.5	313
250	250		340	1068	55								355
300	300		394	1238	57								409
350	350	±2	450	1414	60	2430	+10 -5	+3 -1	+5 -2	±2	±2	465	
400	400		506	1590	63							521	
450	450	±4	564	1772	67	2430	81	2.5	170	90	80	2.0	579
500	500		620	1948	70								635
600	600		736	2312	80								754
700	700	±3 -2	856	2689	90	2430	81	2.5	170	90	80	2.0	874

注1 標準管の有効長(L)は、呼び径200~300については $1000 \pm 10$  mm、呼び径350~700については $1200 \pm 10$  mmとすることができる。

注2 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は、呼び径200~300については $2000 \pm 10$  mm、呼び径350~700については $2430 \pm 10$  mmとする。

注3 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。

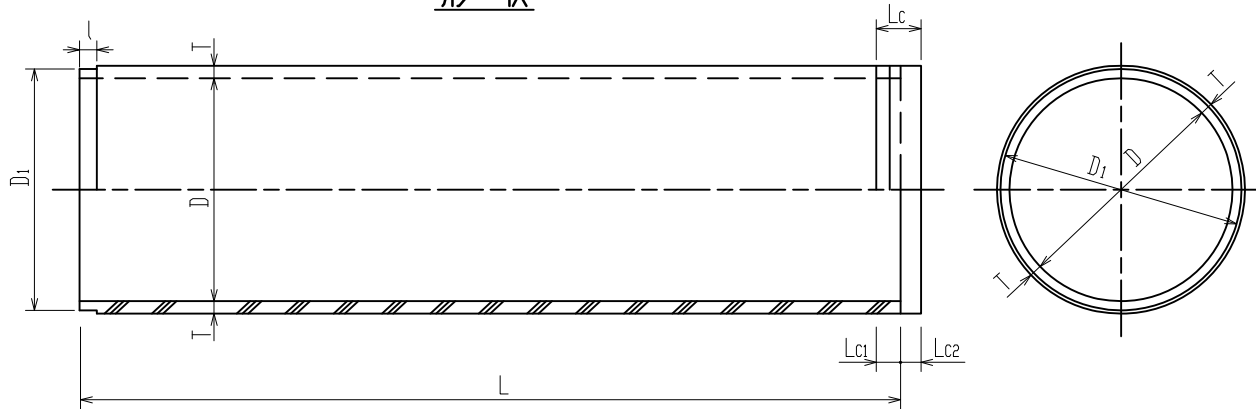
注4 管内面は、粗度係数 $n=0.010$ となるライニング管とする。

整理番号	1-2-501
作成年月日	2009, 04, 01

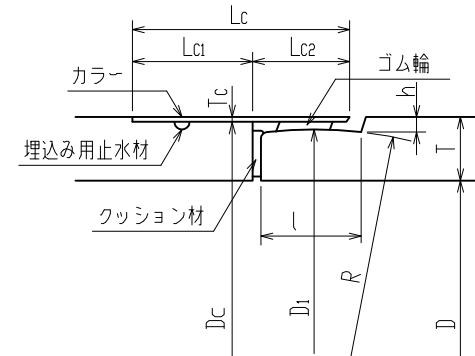
# 小口径推進用鉄筋コンクリート管 (2/5)

## (JSWAS A-6)

形状



継手部詳細 (SJA)



寸法

単位: mm

呼び径	内径 D		D1	$\pi D1$	R	管厚 T	有効長 L	l	h	Lc	Lc1	Lc2	Tc	Dc
250	250	$\pm 3$	340	1068	170	55	2000	75	12	136	58.5	77.5	1.5	355
300	300		394	1238	197	57								409
350	350		450	1414	225	60								465
400	400		506	1590	253	63	2430	81	154	70.0	84.0	$\pm 2$	521	
450	450	$\pm 4$	564	1772	282	67							579	
500	500		620	1948	310	70							635	
600	600		736	2312	368	80							754	
700	700		856	2689	428	90	86	14	172	80.0	92.0	2.0	874	

注1 標準管の有効長(L)は、呼び径250及び300については $1000 \pm 10$  mm、呼び径350~700については $1200 \pm 10$  mmとすることができる。

注2 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は、呼び径250及び300については $1000 \pm 10$  mm、又は $2000 \pm 10$  mm、呼び径350~700については $1200 \pm 10$  mm、又は $2430 \pm 10$  mmとする。

注3 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。

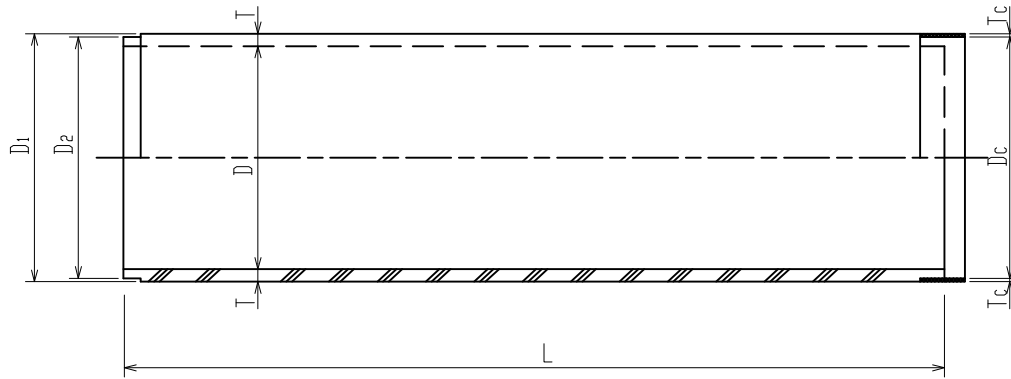
注4 管内面は、粗度係数 $n=0.010$ となるライニング管とする。

整理番号	1-2-502
作成年月日	2009, 04, 01

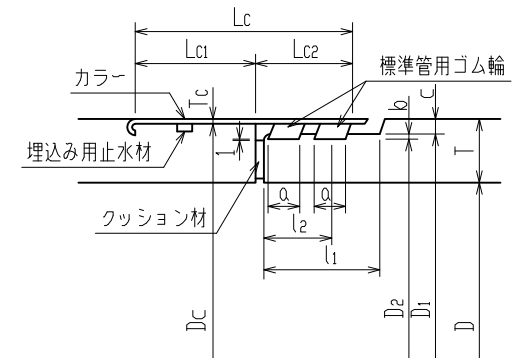
# 小口径推進用鉄筋コンクリート管 (3/5)

## (JSWAS A-6)

### 形状



### 継手部詳細 (SJA)



### 寸法

単位：mm

呼び径	内径 D	D1		$\pi D1$	管厚 T	有効長 L		a	b	c	l1	l2	Dc	Tc	Lc	Lc1	Lc2														
250	250	$\pm 3$	348	1068	55	2000	+10 -5	20	4	6	72	+3 -1	50	2.0	130	+5 -2	55	75													
300	300		402	1238	57																										
350	350		458	1414	60																										
400	400		514	1590	63	2430	+10 -5	22	6	7	82	+3 -1	53	2.5	155	70	85	+10 -3													
450	450	$\pm 4$	572	1772	67																										
500	500		628	1948	70																										
600	600		746	2306	80																										
700	700		866	2683	90																										

注1  $\pi D_2$  は、管のゴム輪用溝の底部の外周長を示す。ただし、 $D_2 = D_1 - 2b$ である。

注2 標準管の有効長(L)は、呼び径250及び300については $1000 \pm 10$ mm、呼び径350~700については $1200 \pm 10$ mmとすることができる。

注3 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は、呼び径250及び300については $1200 \pm 10$ mm、呼び径350~700については $2430 \pm 10$ mmとする。

注4 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。

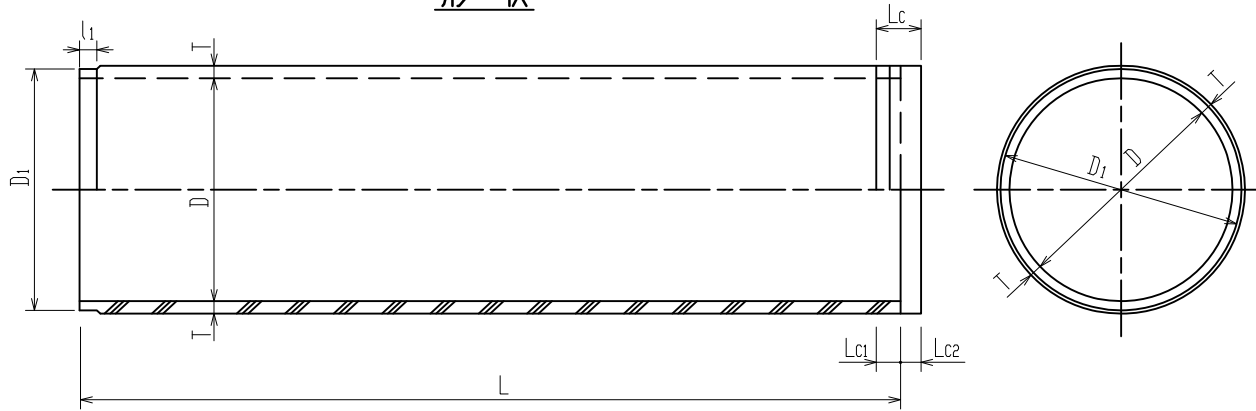
注5 管内面は、粗度係数 $n=0.010$ となるライニング管とする。

整理番号	1-2-503
作成年日	2009, 04, 01

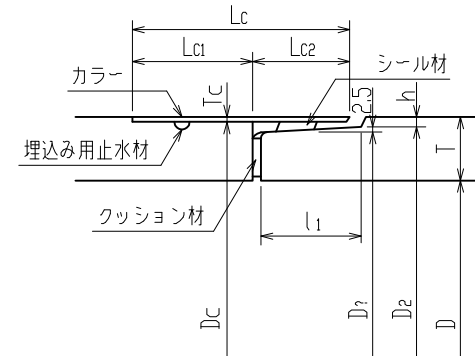
# 小口径推進用鉄筋コンクリート管 (4/5)

## (JSWAS A-6)

形状



継手部詳細 (SJB)



寸法

単位: mm

呼び径	内径 D	D1	D2	$\pi D2$	h	管厚 T	有効長 L	l1	Lc	Lc1	Lc2	Tc	Dc
200	200	$\pm 3$ 295	300	942	9	59	2000	102	170	70	100	1.5	314
250	250	337	342	1074		55							
300	300	391	396	1244		57							
350	350	447	452	1420		60							
400	400	503	508	$\pm 2$ 1596	$\pm 3$	63	$\pm 10$	$\pm 3$	$\pm 5$	$\pm 2$	522		
450	450	$\pm 4$ 561	566	1778	12	67	2430	112	200	90	110	2.0	580
500	500	617	622	1954		70							
600	600	731	736	2312		80							
700	700	851	856	2689		90							

注1 標準管の有効長(L)は、呼び径200~300については $1000 \pm 10$  mm、呼び径350~700については $1200 \pm 10$  mmとすることができる。

注2 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は、呼び径200~300については $2000 \pm 10$  mm、呼び径350~700については $2430 \pm 10$  mmとする。

注3 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。

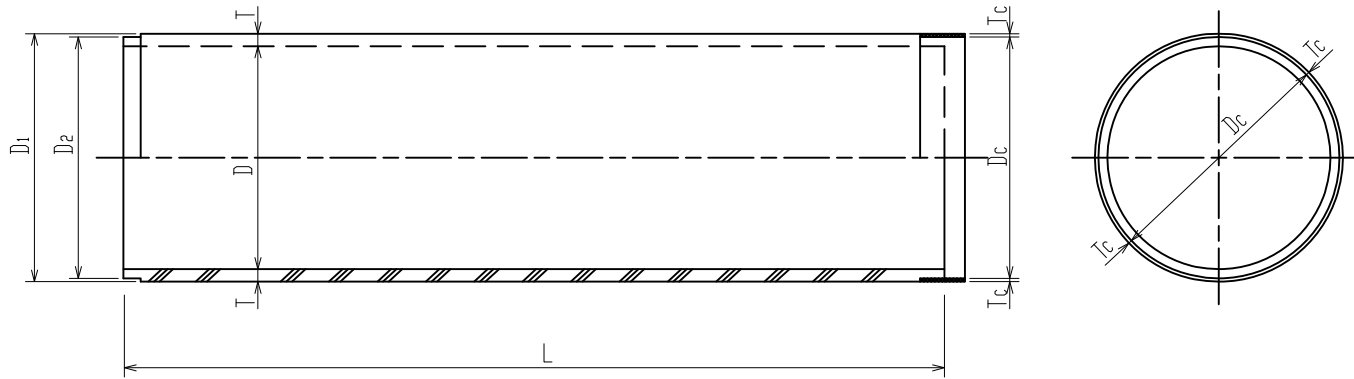
注4 管内面は、粗度係数 $n=0.010$ となるライニング管とする。

整理番号	1-2-504
作成年月日	2009, 04, 01

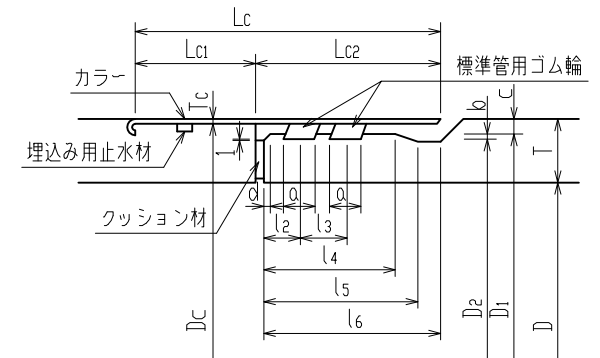
# 小口径推進用鉄筋コンクリート管 (5/5)

## (JSWAS A-6)

### 形状



### 継手部詳細 (SJB)



### 寸法

呼び径	内径 D	D1	$\pi D_2$	管厚 T	有効長 L	a	b	c	d	l1	l2	l3	l4	l5	l6	Dc	Tc	Lc	Lc1	Lc2			
400	400	514	1590	63	2430	20	4	6	2	115	25	37	85	100	100	520	2.0	170	+5	55	115	+0	
450	450	572	1772	67																			-5
500	500	628	1948	70																			+3
600	600	746	2306	80																			-2
700	700	866	2683	90																			

- 注1  $\pi D_2$  は、管のゴム輪用溝の底部の外周長を示す。ただし、 $D_2 = D_1 - 2b$ である。
- 注2 標準管の有効長 (L) は、 $1200 \pm 10$  mmとすることができる。
- 注3 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は、 $2430 \pm 10$  mmとする。
- 注4 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。
- 注5 管内面は、粗度係数  $n = 0.010$  となるライニング管とする。

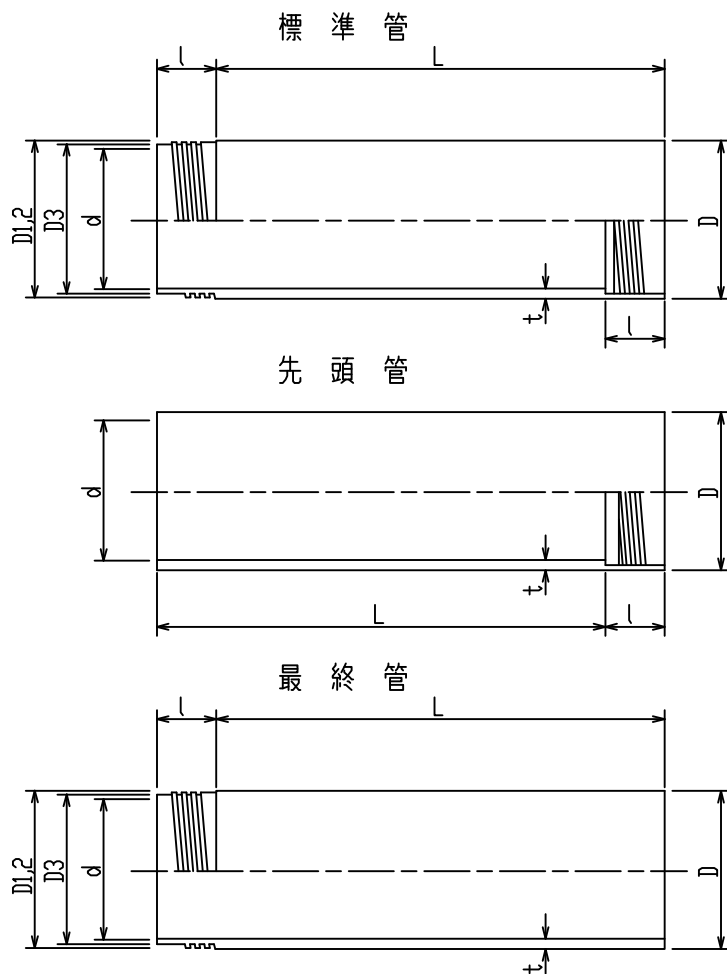
整理番号	1-2-505
作成年月日	2009, 04, 01

# 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管 スパイラル継手付直管 (SSPS)

(JSWAS K-6)

SSPS寸法表

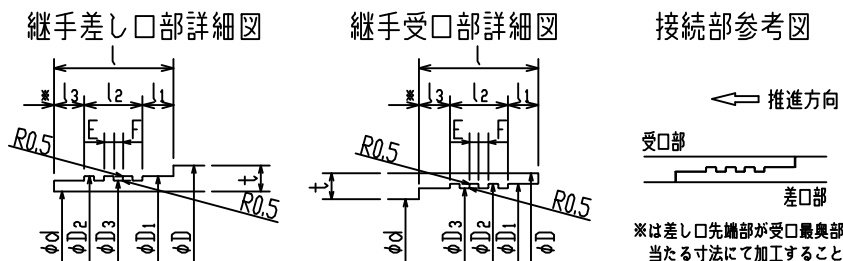
(単位: mm)



呼び径	D	D1	D2	D3	d (参考)	l	t	L
150	受口部	165.0±0.5	158.4±0.3	158.4±0.3	146	64±1	8.9 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	800±3 1000±3
	差口部		157.8±0.3	157.4±0.3		153.2±0.3		
200	受口部	216.0±0.7	208.2±0.3	208.2±0.3	194	64±1	10.3 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	800±3 1000±3 2000±5
	差口部		207.6±0.3	207.2±0.3		202.2±0.3		
250	受口部	267.0±0.9	258.6±0.4	258.6±0.4	240	64±1	12.7 <sup>+1.8</sup> <sub>0</sub>	800±3 1000±3 2000±5
	差口部		257.8±0.4	257.4±0.4		250.2±0.4		
300	受口部	318.0±1.0	307.8±0.4	307.8±0.4	286	64±1	15.1 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	800±3 1000±3 2000±5
	差口部		307.0±0.4	306.6±0.4		298.2±0.4		
350	受口部	370.0±1.2	362.5±0.5	362.4±0.5	339	79±1	14.3 <sup>+2.0</sup> <sub>0</sub>	800±3 1000±3 2000±5
	差口部		361.5±0.5	361.0±0.5		352.4±0.5		
400	受口部	420.0±1.3	411.6±0.5	411.5±0.5	385	79±1	16.2 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	800±3 1000±3 2000±5
	差口部		410.6±0.5	410.1±0.5		400.5±0.5		
450	受口部	470.0±1.5	460.5±0.5	460.4±0.5	431	79±1	18.1 <sup>+2.6</sup> <sub>0</sub>	800±3 1000±3 2000±5
	差口部		459.5±0.5	459.0±0.5		448.4±0.5		

- 注1、D、D1、D2及びD3は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。  
 2、先頭管とは先溝体に接続する管で、最終管とは推進時の最後に使用する管である。また、標準管とは、その間の推進時に使用する管をいう。  
 3、差し口先端部は、糸面取りとする。

(単位: mm)



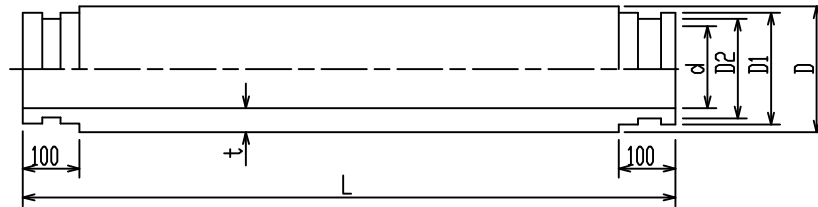
呼び径	継手差し口部					継手受口部				
	l <sub>1</sub> (最小)	l <sub>2</sub> (参考)	l <sub>3</sub> (最小)	E(標準)	F(標準)	l <sub>1</sub> (最小)	l <sub>2</sub> (参考)	l <sub>3</sub> (最小)	E(標準)	F(標準)
150~300	20	40	5	6.75	7.00	20	40	5	7.00	6.75
350~450	25		15			25				

整理番号 1-2-520  
 作成年月日 2009, 05, 01

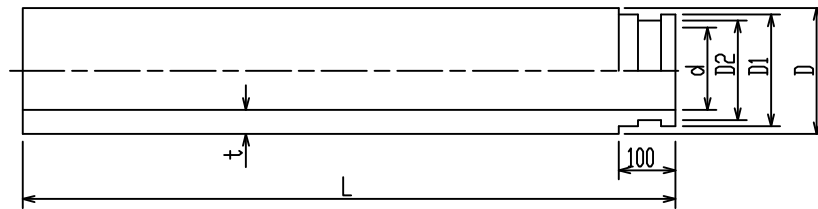
# 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管 SUSカラー付直管 (SUSR)

(JSWAS K-6)

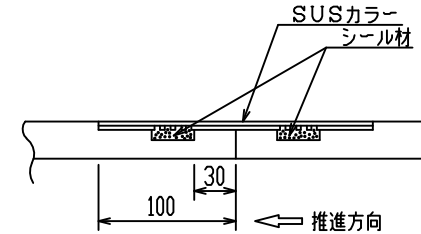
標準管



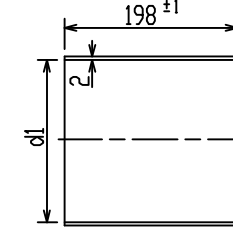
先頭管及び最終管



接続部詳細図



SUSカラー詳細図



SUSR寸法表

(単位：mm)

呼び径	D	D1	D2	d (参考)	d1	t	L
150	165.0±0.5	160.0 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	154.0 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	146	161.3±0.5	8.9 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	1000±3
200	216.0±0.7	211.0 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	205.0 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	194	212.3±0.5	10.3 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	1000±3
250	267.0±0.9	262.0 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	256.0 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	240	263.3±0.5	12.7 <sup>+1.8</sup> <sub>0</sub>	
300	318.0±1.0	313.0 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	307.0 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	286	314.3±0.5	15.1 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	
350	370.0±1.2	365.0 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	359.0 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	339	366.7±0.5	14.3 <sup>+2.0</sup> <sub>0</sub>	2000±5
400	420.0±1.3	415.0 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	409.0 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	385	416.7±0.5	16.2 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	
450	470.0±1.5	465.0 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	459.0 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	431	466.7±0.5	18.1 <sup>+2.6</sup> <sub>0</sub>	

注 1、D、D1及びD2は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。

2、先頭管とは先導体に接続する管で、最終管とは推進時の最後に使用する管である。また、標準管とはその間の推進時に使用する管をいう。

3、差し口先端部は、糸面取りとする。

4、シール材の形状及びシール材周辺部の形状は、規定しない。

整理番号	1-2-530
作成年月日	2009, 05, 01